

## 身近なもので感覚遊び！

皆さんの園では、感覚遊びとしてどのようなアイテムを利用していますか。ご存じのように感覚遊びは子ども達の間接感覚を鍛え、その結果子ども達の感性を伸ばすことにつながります。また、子ども達の感覚（視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚 以上を5感と言いますが、この他にも前庭覚、固有受容覚などの深部感覚も含めて考える事が多いです）は、幼児期が特に敏感な時期であり、この時期に感覚を鍛えることが、子ども達の将来にも関係すると言われていています。そこで、今回は、身近にあるものを使った感覚遊びを紹介します。

### <洗濯はさみを使った遊び>

この遊びは、タイトルの通り洗濯はさみを使って行う遊びです。非常に簡単にできる遊びですが、とても効果のある遊びです。どのような効果があるかというと、

①指先の力がつく（つまむ活動の成立）②触覚を鍛える③物の形を捉える④想像力を養う⑤日常生活の様々な活動がうまくできるようになる（たとえば、○鉛筆がしっかり握れるようになる○スプーンやお箸が操作しやすくなる○ボタン留めがやりやすくなる○靴や靴下がうまく履けるようになる○はさみの操作がうまくなる など ※この例の多くは、両手の協調運動と言われるものです。）

ある園を訪問した際、洗濯はさみを使って遊んでいる子ども達がいきました。その園の園長先生にお願いし、活動している様子の写真をいただきましたので、紹介します。



洗濯はさみを遊びに使用する際、いくつか注意があります。それは、①洗濯はさみで指を挟まないように注意すること。またお友達の所を挟んだりしないことを事前に伝えと置くこと ②洗濯はさみは種類によって開ける時に必要な指の力が違うので、子どもに合ったものを準備すること 以上のことを確認してください。

この他にも身近なもので行える感覚遊びとして、「タオルを使った引っ張り合い」「新聞紙を丸める\*手だけではなく、足でもできます」など、お金をかけず簡単にできる活動が沢山あります。冬場は室内での遊びの機会が増えると思いますので、ぜひ園の先生方で工夫してみてください。また、「こんな遊びやっています」とご紹介いただける方は、協会久保田までご連絡いただくとありがたいです。